

事業番号	04 02 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	多文化共生等推進事業	部局	県民文化部	課・室	文化政策課・多文化共生パスポート室	
		実施期間	不明	～	E-mail	tabunka @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・県内の多文化共生の推進を図るため、更なる意識づくりが必要。
 ・生活やコミュニケーションに必要な日本語を学べる場所が少ない。
 ・国籍や文化の違いを認め合い、共に学び共に地域の活力を創造する社会づくりを行っていく必要がある。

2 事業目的

国籍や文化等の違いを認め合い、共に学び、共に地域の活力を創造する多文化共生社会をめざす。

3 事業目的を達成するための取組

- ①多文化共生の地域づくりの推進**
- ・外国人の日本語学習を地域の活力につなげるため、日本語学習と交流が両立する日本語教室をモデル地域日本語教室として、市町村等と連携し実施
 - ・モデル地域日本語教室で活動する日本語教師と日本語交流員（地域とのつながり及び日本語学習をサポート）を養成・派遣
 - ・長野県多文化共生相談センターにおいて、多言語による相談対応及び情報提供・発信を行うほか、市町村の相談体制の整備・拡充支援や、関係機関と連携した相談対応体制を構築
 - ・「やさしい日本語」の普及を図るため、「やさしい日本語」を活用した講座やイベントを開催
 - ・外国人が災害弱者とならないよう、関係団体との訓練及び災害の基礎知識習得のための外国人向け講座を実施
 - ・【新】外国人県民が病気やけがをした際、言葉の壁に不安を感じることなく医療機関を受診できるよう、医療通訳体制を整備
- ②一般旅券発給事務**
- ・適正な旅券発給事務の実行
 - ・県民の旅券取得の利便性向上のため、マイナポータルを通じた電子申請・オンライン決済を推進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値			
①-1	日本語教師養成数	人	—	—	—	—	10	△	令和7年のモデル地域日本語教室（2教室）で活動できる日本語教師の候補者をそれぞれ5人養成するため、5人×2教室＝10人を目標とする。
①-2	長野県多文化共生相談センター実施の相談員研修会受講者の満足度	%	—	—	—	88	90	△	研修内容の見直しを図り、より相談員のニーズにあった研修内容にすることで、令和5年度以上の満足度を目標値とする。
①-3	医療通訳利用件数	件	—	—	—	—	200	△	利用普及率向上のため、初年度は導入済の他県の利用率実績を参考に、利用件数200件を目標とする。
②	指標なし								

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
4-2①	年齢・性別・国籍・障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出											
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出											

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	予算案		149,362		149,362	27,705	5.0
	要求		149,362		149,362	27,705	
R5年度	0	134,613	△ 3,505	131,108	36,031	5.0	
R4年度	0	131,321	△ 16,756	114,565	63,490	108,484	5.0
予算要求からの 主な変更点	要求どおり						

事業番号	04 02 01	細事業一覧（令和6年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	多文化共生等推進事業		部局	県民文化部	課・室 文化政策課・多文化共生サポート室

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
1	多文化共生推進事業費	40,180 千円	37,820 千円	予算案 40,040 要求 40,040 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域日本語教育の体制づくり事業	直接	<p>地域日本語教室を多文化共生の地域づくりの拠点とするため、日本語教師と日本語交流員の養成及びモデル地域日本語教室への派遣等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語教室等の取組を支援するコーディネーター（総括1人、地域4人）配置 日本語教師の養成（講座6回、教室見学1回、実習2回） 日本語交流員の養成（必修4回、オプション2回） モデル地域日本語教室（1教室）への日本語教師及び日本語交流員の派遣 総合調整会議2回、地域会議4地域で各1回開催 	
2	長野県多文化共生相談センター設置事業	委託	<p>外国人県民の生活を支援するため、長野県多文化共生相談センターを運営し、相談対応やホームページによる情報提供を行うほか、市町村の相談体制を強化するための市町村相談員資質向上研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談対応言語数 15言語以上 ホームページでの情報発信 15言語 市町村相談員の資質向上研修会6回開催 	
3	「やさしい日本語」を使った多文化共生の地域づくり事業	直接	<p>「やさしい日本語」の普及及び多文化共生の意識醸成のため、市町村職員や外国人県民及び日本人県民に向けた講座やイベントを実施</p> <p>「やさしい日本語」でゴミ拾い&国際交流会1回開催</p>	
4	災害時の外国人支援体制整備事業	直接	<p>災害時、外国人被災者を迅速かつ的確に支援するため、支援拠点となる「災害多言語支援センター」の設置・運営訓練を市町村や関連機関と連携し実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内1市町村と合同訓練1回開催 外国人県民のための防災講座1回開催 	
5	外国人県民のための医療通訳体制整備事業	委託	<p>【新】外国人県民がいつでもどこでも安心して医療通訳（一般診療）を利用できるようにするため、医療機関受診時等における多言語電話通訳の体制を整備</p> <p>医療通訳利用件数200件/年間</p>	

細事業 No.	細事業名	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算
2	一般旅券事務費	91,141 千円	96,793 千円	予算案 109,322 要求 109,322 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	一般旅券事務	直接 委託	<p>法定受託事務である一般旅券発給等に係る申請の受理、作成及び交付事務を適正に実施するとともに、電子申請の運用及びオンライン決済を推進</p> <p>10地域振興局並びに飯田市、小諸市、千曲市及び軽井沢町に窓口を開設</p>	